

第 161 回エイズ動向委員会
HIV 感染症に関する NDB 集計
(2023 年 8 月度)

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座

准教授 野田 龍也

- この集計について

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）は国民皆保険制度を有する我が国における保険診療の全数調査であり、生活保護の医療扶助や感染症法に基づく公費医療などを除く、1億2千万人の医療受療状況のデータがほぼすべて格納されている。NDBは病院だけでなく、診療所のデータも取得されており、適切な名寄せを行うことで、医療機関や都道府県をまたいだ受診を匿名のまま追跡することもできる。このようにNDBは既存の集計値にはない強み（全国悉皆性）を有するため、既存統計と補完的に用いることで精緻な実態把握が可能となる。

HIV感染症の患者数等については、拠点病院調査や感染症法の届出などに基づく集計があり、長年活用されている。本提出資料は、NDBを用いて従来調査と同様の集計を並行的に行い、従来調査を裏打ちすることを目的としており、第153回エイズ動向委員会（2019年8月）より継続してNDB集計資料を提出している。

本提出資料は、NDBデータの更新に合わせてエイズ動向委員会向けの集計を更新し、第161回エイズ動向委員会（2023年8月）提出資料としたものである。HIV感染症に関するさまざまな動向のうち、主要な3つの疫学指標（現在患者数（有病）、新規患者数（罹患）、死亡数）についてNDBによる集計を示し、解説を付した。

なお、本資料では、特に記載がない限り、「抗HIV薬の処方を受けている患者」を「HIV感染者・エイズ患者」と表記している。

NDBには、患者数1～9人の数値（例：1人、8人）や、逆算により1～9人を算出できる数値（48人－40人＝8人）を公表してはならないという規制がある（たとえば、上記の下線部は公表不可）。そのため、本資料においては、該当部分に「1～9」「40名程度」「非表示」といったマスキング表記を施している。その他の留意点は、表の要点及び注釈に示した。

なお、データベースにおける名寄せの特性上、NDBデータの更新ごとにID0数（患者数）にわずかな揺れが生じるが、結果の解釈には影響しない範囲の揺れである。

本提出資料は、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）「HIV感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究」（2023年度～、代表：奈良県立医科大学・野田 龍也）の一環として作成された。集計に当たっては株式会社三菱総合研究所の技術協力を得るとともに、名古屋医療センター・横幕能行先生・今橋真弓先生、HIV・エイズの早期治療実現に向けての研究班（代表・千葉大学医学部附属病院・谷口俊文）からの助言をいただいた。

要点：表 1

- 表 1 抗 HIV 薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）
（年齢階級別）

HIV 感染者・エイズ患者数について、エイズ動向委員会では調査開始時からの累積患者数が集計されているが、受診中断や死亡による脱落が織り込まれない点が課題である。本表は、全国悉皆の受診情報である NDB の特性を活かし、「現時点において受診している患者数」（現在継続的に投薬を受けている患者数）を算出したものである。なお、同一患者が複数医療機関や複数都道府県にまたがって受診した場合の名寄せは完了済みである。

NDB による現在通院患者数の把握方法としては、下記の A,B の両方の期間に抗 HIV 薬が処方されている患者とした：

- A) 2018 年（平成 30 年）12 月 1 日～2021 年（令和 3 年）11 月 30 日の 3 年間
- B) 2021 年（令和 3 年）12 月 1 日～2022 年（令和 4 年）3 月 31 日の 4 ヶ月間

過去の一定期間（期間 A）に抗 HIV 薬が処方され、直近（期間 B）にも抗 HIV 薬の処方がある場合を対象とすることにより、最近を受診していない患者や最近になって単発で処方を受けたのみの患者を除外している。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在通院患者数であり、2021 年 12 月～2022 年 3 月の 4 ヶ月間の時点で、通院して処方を受けている HIV 感染者・エイズ患者は、全国で 25632 人（男性 23924 人、女性 1708 人）であった。また、年齢階級別では、全体、性別ともに 45～49 歳が最多であり、その前後は逡減している。

なお、受診間隔に関する臨床的な検討を行い、最近受診の定義（期間 B）について、第 157 回提出資料以降、1 年 3 ヶ月間から 4 ヶ月間へ短縮している。

(表1) 抗HIV薬処方患者数

(現在継続的に投薬を受けている患者数) (年齢階級別)

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）の集計（年齢階級別）								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	合計			男			女		
合計	25,632	87,241,532	29.4	23,924	39,638,817	60.4	1,708	47,602,715	3.6
0歳	0	419,111	0	0	219,403	0	0	199,708	0
1歳	0	747,977	0	0	386,072	0	0	361,905	0
2歳	0	769,363	0	0	398,549	0	0	370,814	0
3歳	0	785,273	0	0	407,607	0	0	377,666	0
4歳	<10	795,612	<10	<10	413,273	<10	<10	382,339	<10
5歳	<10	788,572	<10	<10	411,279	<10	0	377,293	0
6歳	0	802,060	0	0	417,866	0	0	384,194	0
7歳	0	745,855	0	0	391,965	0	0	353,890	0
8歳	<10	735,530	<10	<10	386,047	<10	0	349,483	0
9歳	<10	733,461	<10	0	387,240	0	<10	346,221	<10
10-14歳	<10	3,525,440	<10	<10	1,852,116	<10	<10	1,673,324	<10
15-19歳	<10	3,247,996	<10	<10	1,590,528	<10	<10	1,657,468	<10
20-24歳	238	3,234,676	7.4	226	1,396,580	16.2	12	1,838,096	0.7
25-29歳	1,035	3,437,905	30.1	997	1,422,799	70.1	38	2,015,106	1.9
30-34歳	2,085	3,680,696	56.6	2,018	1,547,503	130.4	67	2,133,193	3.1
35-39歳	2,904	4,185,449	69.4	2,756	1,798,364	153.3	148	2,387,085	6.2
40-44歳	3,633	4,681,068	77.6	3,396	2,069,349	164.1	237	2,611,719	9.1
45-49歳	4,786	5,698,809	84.0	4,454	2,594,557	171.7	332	3,104,252	10.7
50-54歳	4,045	5,913,427	68.4	3,745	2,749,377	136.2	300	3,164,050	9.5
55-59歳	2,598	5,423,370	47.9	2,390	2,601,426	91.9	208	2,821,944	7.4
60-64歳	1,600	5,465,729	29.3	1,464	2,656,513	55.1	136	2,809,216	4.8
65-69歳	1,112	6,056,819	18.4	1,027	2,914,657	35.2	85	3,142,162	2.7
70-74歳	950	8,044,655	11.8	883	3,763,663	23.5	67	4,280,992	1.6
75-79歳	387	6,014,585	6.4	343	2,687,795	12.8	44	3,326,790	1.3
80-84歳	180	5,180,454	3.5	162	2,179,718	7.4	18	3,000,736	0.6
85-89歳	52	3,637,193	1.4	40程度	1,337,730	3程度	<10	2,299,463	<10
90-94歳	14	1,826,235	0.8	10程度	528,505	2程度	<10	1,297,730	<10
95-99歳	0	571,233	0	0	116,809	0	0	454,424	0
100歳以上	0	92,979	0	0	11,527	0	0	81,452	0

●集計値1～9については「<10」としている。

●「2018年12月1日～2021年11月30日」と「2021年12月1日～2022年3月31日」の両方に抗HIV薬が処方された患者

●年齢は最後の医療保険使用時の年齢階級を使用。

●抗HIV薬は別表のマスタ（表9）を使用した。

●1～9の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 2

- 表 2 抗 HIV 薬処方患者数（現在継続的に投薬を受けている患者数）
（都道府県別）

本表は、現在継続的に投薬を受けている HIV 感染者・エイズ患者を都道府県別に算出したものである。患者数の把握方法は表 1 と同様である。

なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」（受診地）であり、患者住所地ではない点に注意が必要である。

表における「追跡中の抗 HIV 薬処方患者」が現在継続通院患者数であり、東京都の 10042 人が最多、大阪府の 3122 人がそれに次ぐ。

(表2) 抗HIV薬処方患者数

(現在継続的に投薬を受けている患者数) (都道府県別)

	NDBを用いた抗HIV薬処方患者数(現在継続的に投薬を受けている患者数)の集計(都道府県別)								
	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数	追跡中の 抗HIV薬 処方患者	追跡中の 抗HIV薬 非処方患者	10万人 あたりの 抗HIV薬 処方患者数
	合計			男			女		
全国	25,632	87,241,532	29.4	23,924	39,638,817	60.4	1,708	47,602,715	3.6
北海道	515	3,464,319	14.9	494	1,524,564	32.4	21	1,939,755	1.1
青森県	88	856,113	10.3	80程度	376,144	22程度	<10	479,969	<10
岩手県	48	835,474	5.7	40程度	376,024	11程度	<10	459,450	<10
宮城県	221	1,583,128	14.0	204	722,098	28.3	17	861,030	2.0
秋田県	42	693,567	6.1	40程度	306,901	13程度	<10	386,666	<10
山形県	43	774,224	5.6	40程度	351,041	12程度	<10	423,183	<10
福島県	87	1,291,984	6.7	71	598,137	11.9	16	693,847	2.3
茨城県	335	1,914,597	17.5	282	896,053	31.5	53	1,018,544	5.2
栃木県	311	1,381,140	22.5	262	643,326	40.7	49	737,814	6.6
群馬県	229	1,382,251	16.6	199	636,572	31.3	30	745,679	4.0
埼玉県	532	4,676,229	11.4	484	2,164,910	22.4	48	2,511,319	1.9
千葉県	845	4,078,686	20.7	718	1,879,993	38.2	127	2,198,693	5.8
東京都	10,042	10,306,694	97.4	9,537	4,720,392	202.0	505	5,586,302	9.0
神奈川県	1,497	6,232,703	24.0	1,346	2,867,410	46.9	151	3,365,293	4.5
新潟県	117	1,532,695	7.6	103	696,827	14.8	14	835,868	1.7
富山県	70	728,267	9.6	60程度	330,407	19程度	<10	397,860	<10
石川県	126	782,461	16.1	115	353,638	32.5	11	428,823	2.6
福井県	59	537,234	11.0	50程度	245,138	12程度	<10	292,096	<10
山梨県	81	569,060	14.2	61	260,768	23.4	20	308,292	6.5
長野県	262	1,438,495	18.2	193	658,649	29.3	69	779,846	8.8
岐阜県	158	1,369,603	11.5	145	623,893	23.2	13	745,710	1.7
静岡県	412	2,560,261	16.1	362	1,184,598	30.6	50	1,375,663	3.6
愛知県	1,502	5,268,887	28.5	1,391	2,456,119	56.6	111	2,812,768	3.9
三重県	158	1,241,348	12.7	130	569,464	22.8	28	671,884	4.2
滋賀県	138	936,984	14.7	123	431,688	28.5	15	505,296	3.0
京都府	388	1,700,366	22.8	370	756,289	48.9	18	944,077	1.9
大阪府	3,122	6,047,387	51.6	3,017	2,698,880	111.8	105	3,348,507	3.1
兵庫県	704	3,791,599	18.6	670	1,684,241	39.8	34	2,107,358	1.6
奈良県	150	935,018	16.0	134	415,582	32.2	16	519,436	3.1
和歌山県	89	681,072	13.1	80程度	302,843	28程度	<10	378,229	<10
鳥取県	32	391,350	8.2	30程度	175,277	17程度	<10	216,073	<10
島根県	30	475,117	6.3	30程度	214,285	13程度	<10	260,832	<10
岡山県	235	1,315,589	17.9	221	594,021	37.2	14	721,568	1.9
広島県	331	1,946,087	17.0	316	885,262	35.7	15	1,060,825	1.4
山口県	91	951,997	9.6	80程度	425,581	20程度	<10	526,416	<10
徳島県	62	514,515	12.1	60程度	230,758	25程度	<10	283,757	<10
香川県	110	681,527	16.1	110程度	309,197	34程度	<10	372,330	<10
愛媛県	125	944,463	13.2	120程度	421,512	28程度	<10	522,951	<10
高知県	77	483,576	15.9	70程度	213,574	34程度	<10	270,002	<10
福岡県	1,008	3,523,295	28.6	960	1,565,827	61.3	48	1,957,468	2.5
佐賀県	54	591,194	9.1	50程度	263,819	20程度	<10	327,375	<10
長崎県	102	924,534	11.0	100程度	408,734	23程度	<10	515,800	<10
熊本県	202	1,250,954	16.1	191	557,180	34.3	11	693,774	1.6
大分県	93	807,078	11.5	90程度	361,983	25程度	<10	445,095	<10
宮崎県	117	771,039	15.2	110程度	342,465	33程度	<10	428,574	<10
鹿児島県	176	1,140,749	15.4	170程度	507,917	33程度	<10	632,832	<10
沖縄県	416	936,622	44.4	399	428,836	93.0	17	507,786	3.3

●都道府県は受診医療機関住所地(受診地)

●抗HIV薬は別表のマスタ(表9)を使用した。

●「2018年12月1日～2021年11月30日」と「2021年12月1日～2022年3月31日」の両方にレセプトが発生した患者のうち、抗HIV薬が処方された患者。

●集計値1～9については「<10」としている。

●1～9の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 3

- 表 3 新規に投薬を開始された患者数（2021 年）（年齢階級別）

2021 年（令和 3 年）1 月～12 月の 1 年間に、新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数を示した。NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。

データベースにおける新規受診の把握は、「一定のルックバック期間（今回は 7 年 9 ヶ月間）において抗 HIV 薬の処方を受けず、集計対象期間の 1 年間（今回は 2021 年）になって抗 HIV 薬を処方された患者」とした。この定義では、過去に抗 HIV 薬の処方を受けていた患者が 7 年 9 ヶ月以上ぶりに処方を再開された場合は新規患者に誤分類されるが、その数は少ないという臨床的な前提を置いている（表 4 で検証）。なお、本集計では新規に HIV/AIDS と診断されたが抗 HIV 薬の処方を受けずに経過観察とされた患者は集計されない点に注意が必要である。

NDB で集計した新規処方開始者（新規患者）数は 1657 人であり、感染症法による届出数 1057 人に比べ、1.6 倍であった。年齢階級別の集計では、NDB 集計と感染症法届出との乖離は 1.2～2.4 倍であった。なお、NDB は感染経路や感染地域の情報を持たない。

(表3) 新規に投薬を開始された患者数
(2021年) (年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔令和3年(2021年)1月1日～令和3年(2021年)12月31日〕 HIV感染者・エイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 〔令和3年(2021年)1月1日～令和3年(2021年)12月31日〕 HIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

診断区分				NDBによる患者数/ 感染症法の届出数
		NDBによる患者数	感染症法の届出数	
合計		1,657	1,057	1.6
感染経路	異性間の性的接触	・	144	・
	同性間の性的接触※1	・	693	・
	静注薬物使用	・	1	・
	母子感染	・	1	・
	その他※2	・	71	・
	不明	・	147	・
年齢	10歳未満	0	1	0.0
	10～19歳	<10	7	非表示
	20～29歳	358	292	1.2
	30～39歳	522	333	1.6
	40～49歳	407	225	1.8
	50～59歳	263	138	1.9
	60～69歳	85	43	2.0
	70歳以上	20程度	18	2程度
	不明	0	0	非表示
性	男	1,547	1,012	1.5
	女	110	45	2.4
感染地域	国内	・	818	・
	海外	・	74	・
	不明	・	165	・

- 年齢は最終受診時の年齢
- NDB：2021年1月～12月の1年間の新規に投薬を開始された患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月1日から2020年12月31日の7年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2021年1月1日から2021年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規に投薬を開始された患者のほか、2013年4月以前に処方があった後、長期中断後に抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- 抗HIV薬は別表のマスタ(表9)を使用した。
- 集計値1～9については「<10」としている。
- その他のマスキング対象箇所については「非表示」としている。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

※1 両性間性的接触を含む。

※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

要点：表 4

- 表 4 新規に投薬を開始された患者数（2021 年）（都道府県別、ルックバック期間別）

2021 年（令和 3 年）1 月～12 月の 1 年間に、新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数を都道府県別に示した。NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。なお、NDB における地域情報は「受診医療機関の住所地」（受診地）であり、患者住所地ではない。「新規処方」の定義は表 3 と同様である。

抗 HIV 薬の処方が確認されていない期間（集計上のルックバック期間）の設定による患者数の変化を確認するため、参考値としてルックバック期間を短くした場合の集計結果を下の欄に示した。

NDB で集計した新規処方開始者（新規患者）数をもっとも多かったのは東京都の 605 人であり、大阪府の 160 人が続いた。都道府県別に見ても、感染症法届出数との比率は類似の傾向が示された。

ルックバック期間を短くするほど NDB による集計数が増加しており、これは数年間を経ての再受診者の存在を示している。

(表4) 新規に投薬を開始された患者数
(2021年) (都道府県別、ルックバック期間別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数(新規) 〔令和3年(2021年)1月1日～令和3年(2021年)12月31日)〕 HIV感染者・エイズ患者の性別、年齢別集計の合計値
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 〔令和3年(2021年)1月1日～令和3年(2021年)12月31日)〕 HIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

HIV感染者+エイズ患者

	感染症法の届出数 (2021年)	NDBによる患者数 (2021年)	† NDBによる患者数 (2020年)	† NDBによる患者数 (2019年)	† NDBによる患者数 (2018年)	† NDBによる患者数 (2017年)
ルックバック期間	-	7年	6年	5年	4年	3年
合計	1057	1657	1917	2010	2046	2225
北海道	27	38	41	45	46	50
青森県	8	<10	<10	<10	<10	10
岩手県	1	<10	<10	<10	<10	<10
宮城県	9	15	14	22	10	18
秋田県	2	<10	<10	<10	0	<10
山形県	2	<10	<10	<10	<10	<10
福島県	6	<10	<10	<10	11	<10
茨城県	17	24	19	23	28	20
栃木県	9	31	26	23	28	21
群馬県	15	16	19	23	19	23
埼玉県	28	55	46	40	41	46
千葉県	31	70	66	81	75	87
東京都	357	605	708	740	721	800
神奈川県	67	103	124	128	128	144
新潟県	1	<10	10	13	11	<10
富山県	6	<10	<10	<10	<10	<10
石川県	6	<10	<10	<10	<10	<10
福井県	1	<10	<10	<10	<10	<10
山梨県	3	<10	12	<10	<10	10
長野県	5	14	17	19	19	23
岐阜県	14	15	13	14	20	16
静岡県	20	26	37	27	40	40
愛知県	88	101	127	124	132	126
三重県	6	18	14	18	17	23
滋賀県	8	12	<10	17	11	13
京都府	6	22	37	30	40	32
大阪府	106	160	192	224	247	278
兵庫県	31	50	61	48	51	73
奈良県	5	<10	<10	<10	<10	10
和歌山県	3	<10	<10	<10	<10	<10
鳥取県	2	<10	<10	<10	<10	<10
島根県	4	<10	<10	<10	<10	<10
岡山県	13	17	16	19	28	25
広島県	11	16	23	23	21	24
山口県	2	<10	10	<10	12	<10
徳島県	4	<10	<10	<10	<10	<10
香川県	6	<10	11	11	12	11
愛媛県	4	<10	<10	<10	<10	<10
高知県	0	<10	<10	<10	<10	<10
福岡県	55	76	84	90	97	105
佐賀県	9	<10	<10	10	<10	<10
長崎県	4	<10	<10	17	<10	<10
熊本県	10	13	19	18	17	23
大分県	8	<10	15	11	12	<10
宮崎県	5	<10	<10	<10	11	15
鹿児島県	6	11	18	20	19	19
沖縄県	26	32	38	41	35	34

- 都道府県は受診医療機関住所地(受診地)
- 年齢は最終受診時の年齢。
- NDB: 2021年1月～12月の1年間の新規に投薬を開始された患者及び抗HIV薬の長期中断後処方再開患者の合計
2013年4月1日から2020年12月31日の7年9ヶ月間に抗HIV薬を処方されていないかつ
2021年1月1日から2021年12月31日の1年間に抗HIV薬の処方があった患者。
- 新規に投薬を開始された患者のほか、ルックバック期間中に処方が行われず、その後、抗HIV薬の処方を再開した者を含む。
- ルックバック期間: NDB上で新規処方を把握するために設定された無処方期間。
- 抗HIV薬は別表のマスタ(表9)を使用した。
- 集計値1～9については「<10」としている。

†はルックバック期間が短いため、処方再開患者を一定数含んでおり、参考値。

要点：表 5

- 表 5 HIV 感染者・エイズ患者（累積患者数）

本表は HIV 感染者・エイズ患者の累積患者数及びその感染経路に関する集計である。表の右半分は、感染症法に基づく届出による既存集計である。

NDB による集計は、2013 年（平成 25 年）4 月 1 日～2021 年（令和 3 年）12 月 31 日の 8 年 9 ヶ月間に抗 HIV 薬の処方を受けた累積患者数である。NDB には感染経路に関する情報が収載されていないため、全体の患者数以外のほぼすべての箇所が不明（「・」）となっている。

NDB 集計による累積患者数（8 年 9 ヶ月間）は、合計で 33222 人となり、感染症法届出の累積患者数 33503 人に近い集計値であった。

(表5) HIV感染者・エイズ患者（累積患者数）

		NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数情報 令和3年（2021年）12月31日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の性別患者数									感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 令和3年（2021年）12月26日現在のHIV感染者 及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計								
診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計			日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H I V 感 染 者	合計	・	・	・	・	・	・	・	・	・	18,397	1,057	19,454	2,217	1,535	3,752	20,614	2,592	23,206
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	3,307	858	4,165	520	907	1,427	3,827	1,765	5,592
	同性間の性的接触※1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	13,134	4	13,138	1,061	1	1,062	14,195	5	14,200
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	47	2	49	31	4	35	78	6	84
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	18	10	28	8	9	17	26	19	45
	その他※2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	436	42	478	93	34	127	529	76	605
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,455	141	1,596	504	580	1,084	1,959	721	2,680
エ イ ズ 患 者	合計※3	・	・	・	・	・	・	・	・	・	8,329	435	8,764	1,083	450	1,533	9,412	885	10,297
	異性間の性的接触	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2,434	285	2,719	332	246	578	2,766	531	3,297
	同性間の性的接触※1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	4,161	3	4,164	242	2	244	4,403	5	4,408
	静注薬物使用	・	・	・	・	・	・	・	・	・	33	4	37	29	3	32	62	7	69
	母子感染	・	・	・	・	・	・	・	・	・	10	3	13	1	6	7	11	9	20
	その他※2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	278	26	304	40	18	58	318	44	362
	不明	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,413	114	1,527	439	175	614	1,852	289	2,141
HIV感染者+エイズ患者 合計		・	・	・	・	・	・	30,789	2,433	33,222	26,726	1,492	28,218	3,300	1,985	5,285	30,026	3,477	33,503
凝固因子製剤による感染者※4		・	・	・	・	・	・	・	・	・	1,422	18	1,440	-	-	-	1,422	18	1,440

- 感染症法の太枠は、2021年12月26日の時点でのHIV感染者・エイズ患者の累計。
- 2013年4月1日～2021年12月31日にレセプトが発生し抗HIV薬が処方された患者。
- 抗HIV薬は別表のマスタ（表9）を使用した。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

※1 両性間性的接触を含む。

※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

※3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

※4 「血液凝固異常症全国調査」による2020年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数

（平成11年（1999年）4月1日～令和3年（2021年）12月31日） 447名

エイズ予防法※5に基づく法定報告数

（平成元年（1989年）2月17日～平成11年（1999年）3月31日） 596名

凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数※6 726名

※5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

※6 「血液凝固異常症全国調査」による2020年5月31日現在の報告数

要点：表 7

- 表 7 新規に投薬を開始された患者数（2021 年第 4 四半期）（年齢階級別）

2021 年（令和 3 年）10 月～12 月の 3 ヶ月間に、新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数を示した。NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。

新規処方の定義は表 3 と類似である。ルックバック期間は 8 年 6 ヶ月間と長くなっており、新規受診の集計期間が 3 ヶ月間と短くなっている。

HIV に関する集計は 3 ヶ月単位で報告されることがあるが、3 ヶ月単位での新規患者数集計を NDB で行うと集計値が小さくなるためマスキングが多く発生し、参照可能な集計値を十分に公表できないことが予想される。

(表7) 新規に投薬を開始された患者数 (2021年第4四半期) (年齢階級別)

NDB	NDBから求めたHIV感染者・エイズ患者数 (新規) 〔令和3年 (2021年) 10月1日～令和3年 (2021年) 12月31日〕 HIV感染者・エイズ患者の性別、年齢別集計
感染症法	感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報 〔令和3年 (2021年) 9月27日～令和3年 (2021年) 12月26日〕 HIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別、年齢別、感染地域別報告数

診断区分		計		男		女	
		NDBによる患者数	感染症法の届出	NDBによる患者数	感染症法の届出	NDBによる患者数	感染症法の届出
合計		384	261	366	249	18	12
感染経路	異性間の性的接触	・	40	・	30	・	10
	同性間の性的接触※1	・	164	・	164	・	0
	静注薬物使用	・	0	・	0	・	0
	母子感染	・	1	・	1	・	0
	その他※2	・	23	・	23	・	0
	不明	・	33	・	31	・	2
年齢	10歳未満	0	1	0	1	0	0
	10～19歳	0	1	0	1	0	0
	20～29歳	85	61	80程度	58	<10	3
	30～39歳	118	97	120程度	93	<10	4
	40～49歳	90	54	90程度	51	<10	3
	50～59歳	62	30	60程度	28	<10	2
	60～69歳	30程度	13	20程度	13	<10	0
	70歳以上	<10	4	<10	4	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0
感染地域	国内	・	205	・	201	・	4
	海外	・	16	・	13	・	3
	不明	・	40	・	35	・	5

※1 両性間性的接触を含む。

※2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

- NDB集計：2021年10月～12月の新規（抗HIV薬処方開始）患者
2013年4月1日から2021年09月30日までに抗HIV薬を処方されていない
かつ2021年10月1日から2021年12月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。
- 年齢は最後の医療保険使用時の年齢階級を使用。
- 抗HIV薬は別表のマスタ（表9）を使用した。
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。
- 集計値1～9については「<10」としている。
- 1～9の患者数が逆算により求められないよう患者数を丸めて「程度」としている箇所がある。

要点：表 8

● 表 8 都道府県別・ブロック別患者数（2021 年第 4 四半期新規及び累積患者数）

以下の 2 つについて、都道府県別・ブロック別患者数を示した：

- ・ 2021 年（令和 3 年）10 月～12 月の 3 ヶ月間（第 4 四半期）に新規に抗 HIV 薬の処方を受けた患者数
- ・ 2013 年（平成 25 年）4 月 1 日～2021 年（令和 3 年）12 月 31 日の 8 年 9 ヶ月間に抗 HIV 薬の処方を受けた累積患者数を都道府県別に示した。

NDB による集計値と同期間中の感染症法による届出数を併記している。新規処方の定義は表 7 と同様である。

新規患者の集計は、集計期間が短く、集計値が都道府県に分割されるため、NDB 集計値の多くが 10 未満のマスキング対象となっている。

(表8) 都道府県別・ブロック別患者数 (2021年第4四半期新規及び累積患者数)

NDB	H I V 感染者・エイズ患者集計 新規・累積 (都道府県別集計) 〔令和3年 (2021年) 10月1日～令和3年 (2021年) 12月31日〕																	
	感染症法に基づく H I V 感染者・エイズ患者情報 H I V 感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況 〔令和3年 (2021年) 9月27日～令和3年 (2021年) 12月26日〕																	
ブロック名	都道府県名	今回新規 (2021年10月～12月)				前回新規 (2021年7月～9月)				累計 (感染症法は1985年～、NDBは2013年4月～2021年12月)								
		報告地		(居住地)		報告地		(居住地)		報告地		(居住地)		報告地率		(居住地率)		
		NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	NDB	感染症法	
北海道	1 北海道	<10	6	・	(4)	12	6	・	(4)	654	621	・	(401)	2.0%	1.9%	・	(2.2%)	
	2 青森県	<10	2	・	(3)	<10	4	・	(2)	120	110	・	(54)	0.4%	0.3%	・	(0.3%)	
	3 岩手県	<10	1	・	(1)	0	0	・	(0)	62	75	・	(33)	0.2%	0.2%	・	(0.2%)	
	4 宮城県	<10	0	・	(0)	<10	1	・	(1)	290	281	・	(162)	0.9%	0.8%	・	(0.9%)	
	5 秋田県	<10	1	・	(2)	0	1	・	(1)	48	53	・	(27)	0.1%	0.2%	・	(0.1%)	
	6 山形県	<10	0	・	(0)	0	1	・	(1)	58	64	・	(29)	0.2%	0.2%	・	(0.2%)	
	7 福島県	<10	1	・	(1)	<10	3	・	(3)	118	161	・	(98)	0.4%	0.5%	・	(0.5%)	
東北ブロック計		<10	5	・	(7)	10程度	10	・	(8)	696	744	・	(403)	2.1%	2.2%	・	(2.2%)	
関東 甲信越	8 茨城県	<10	4	・	(3)	<10	4	・	(5)	466	932	・	(299)	1.4%	2.8%	・	(1.6%)	
	9 栃木県	<10	2	・	(1)	<10	1	・	(1)	439	507	・	(177)	1.3%	1.5%	・	(1.0%)	
	10 群馬県	<10	6	・	(6)	<10	3	・	(1)	335	408	・	(184)	1.0%	1.2%	・	(1.0%)	
	11 埼玉県	21	9	・	(15)	11	6	・	(8)	710	1,051	・	(850)	2.1%	3.1%	・	(4.6%)	
	12 千葉県	19	8	・	(10)	12	9	・	(11)	1,124	1,549	・	(836)	3.4%	4.6%	・	(4.5%)	
	13 東京都	151	77	・	(64)	148	91	・	(85)	12,819	11,179	・	(5,104)	38.6%	33.4%	・	(27.8%)	
	14 神奈川県	15	19	・	(14)	35	15	・	(14)	1,999	2,254	・	(1,227)	6.0%	6.7%	・	(6.7%)	
	15 新潟県	<10	1	・	(1)	<10	0	・	(0)	156	178	・	(81)	0.5%	0.5%	・	(0.4%)	
	16 山梨県	<10	1	・	(1)	<10	2	・	(2)	104	186	・	(66)	0.3%	0.6%	・	(0.4%)	
17 長野県	<10	0	・	(0)	<10	1	・	(0)	343	560	・	(164)	1.0%	1.7%	・	(0.9%)		
関東・甲信越ブロック計		225	127	・	(115)	236	132	・	(127)	18,495	18,804	・	(8,988)	55.7%	56.2%	・	(48.9%)	
北陸	18 富山県	<10	2	・	(2)	<10	2	・	(1)	85	97	・	(56)	0.3%	0.3%	・	(0.3%)	
	19 石川県	<10	2	・	(2)	<10	1	・	(2)	155	143	・	(85)	0.5%	0.4%	・	(0.5%)	
	20 福井県	0	0	・	(0)	0	0	・	(0)	71	88	・	(54)	0.2%	0.3%	・	(0.3%)	
北陸ブロック計		<10	4	・	(4)	<10	3	・	(3)	311	328	・	(195)	0.9%	1.0%	・	(1.1%)	
東海	21 岐阜県	<10	4	・	(4)	<10	5	・	(5)	206	365	・	(281)	0.6%	1.1%	・	(1.5%)	
	22 静岡県	<10	6	・	(6)	<10	5	・	(4)	563	737	・	(336)	1.7%	2.2%	・	(1.8%)	
	23 愛知県	30	16	・	(15)	24	24	・	(23)	1,986	2,139	・	(1,413)	6.0%	6.4%	・	(7.7%)	
	24 三重県	<10	3	・	(4)	<10	1	・	(0)	237	297	・	(170)	0.7%	0.9%	・	(0.9%)	
東海ブロック計		44	29	・	(29)	37	35	・	(32)	2,992	3,538	・	(2,200)	9.0%	10.6%	・	(12.0%)	
近畿	25 滋賀県	<10	2	・	(1)	<10	1	・	(1)	186	188	・	(116)	0.6%	0.6%	・	(0.6%)	
	26 京都府	<10	2	・	(3)	<10	1	・	(1)	507	440	・	(272)	1.5%	1.3%	・	(1.5%)	
	27 大阪府	31	31	・	(22)	48	31	・	(26)	3,967	3,905	・	(2,360)	11.9%	11.7%	・	(12.8%)	
	28 兵庫県	<10	4	・	(6)	16	12	・	(9)	924	796	・	(592)	2.8%	2.4%	・	(3.2%)	
	29 奈良県	<10	1	・	(0)	<10	2	・	(2)	191	207	・	(125)	0.6%	0.6%	・	(0.7%)	
30 和歌山県	<10	2	・	(2)	<10	0	・	(0)	106	131	・	(68)	0.3%	0.4%	・	(0.4%)		
近畿ブロック計		46	42	・	(34)	77	47	・	(39)	5,881	5,667	・	(3,533)	17.7%	16.9%	・	(19.2%)	
中国 四国	31 鳥取県	0	1	・	(1)	0	0	・	(0)	49	44	・	(31)	0.1%	0.1%	・	(0.2%)	
	32 島根県	<10	1	・	(1)	<10	1	・	(1)	43	36	・	(21)	0.1%	0.1%	・	(0.1%)	
	33 岡山県	<10	5	・	(3)	<10	6	・	(6)	304	298	・	(197)	0.9%	0.9%	・	(1.1%)	
	34 広島県	<10	5	・	(2)	<10	3	・	(2)	401	406	・	(269)	1.2%	1.2%	・	(1.5%)	
	35 山口県	<10	0	・	(1)	<10	1	・	(2)	113	113	・	(83)	0.3%	0.3%	・	(0.5%)	
	36 徳島県	<10	1	・	(1)	<10	1	・	(1)	79	89	・	(68)	0.2%	0.3%	・	(0.4%)	
	37 香川県	<10	3	・	(3)	<10	0	・	(0)	152	137	・	(104)	0.5%	0.4%	・	(0.6%)	
	38 愛媛県	0	1	・	(1)	0	0	・	(0)	149	163	・	(88)	0.4%	0.5%	・	(0.5%)	
	39 高知県	0	0	・	(0)	0	0	・	(0)	93	90	・	(67)	0.3%	0.3%	・	(0.4%)	
中国・四国ブロック計		14	17	・	(13)	16	12	・	(12)	1,383	1,376	・	(928)	4.2%	4.1%	・	(5.1%)	
九州 沖縄	40 福岡県	10	8	・	(8)	20	12	・	(11)	1,280	1,104	・	(841)	3.9%	3.3%	・	(4.6%)	
	41 佐賀県	<10	5	・	(5)	<10	2	・	(2)	67	86	・	(83)	0.2%	0.3%	・	(0.5%)	
	42 長崎県	<10	0	・	(0)	<10	0	・	(0)	130	106	・	(65)	0.4%	0.3%	・	(0.4%)	
	43 熊本県	<10	1	・	(1)	<10	0	・	(1)	279	189	・	(126)	0.8%	0.6%	・	(0.7%)	
	44 大分県	<10	3	・	(2)	<10	1	・	(0)	117	129	・	(90)	0.4%	0.4%	・	(0.5%)	
	45 宮崎県	<10	0	・	(0)	<10	2	・	(2)	150	126	・	(99)	0.5%	0.4%	・	(0.5%)	
	46 鹿児島県	<10	2	・	(2)	<10	0	・	(0)	235	206	・	(145)	0.7%	0.6%	・	(0.8%)	
47 沖縄県	10	12	・	(12)	<10	1	・	(1)	552	443	・	(277)	1.7%	1.3%	・	(1.5%)		
九州・沖縄ブロック計		35	31	・	(30)	38	18	・	(17)	2,810	2,389	・	(1,726)	8.5%	7.1%	・	(9.4%)	
合計		384	261	・	(236)	430	263	・	(242)	33,222	33,467	・	(18,374)	100%	100.0%	・	(100.0%)	

「前回新規」とは、感染症法の報告に記載されている「前回新規」を示す（エイズ動向委員会への前回報告の「今回新規」の値ではない）。

「今回」のNDB集計：2021年10月～12月の新規患者（抗HIV薬処方開始）

- 2013年4月1日から2021年9月30日までに抗HIV薬を処方されていない
かつ2021年10月1日から2021年12月31日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。

「前回」のNDB集計：2021年7月～9月の新規患者（抗HIV薬処方開始）

- 2013年4月1日から2021年6月30日までに抗HIV薬を処方されていない
かつ2021年7月1日から2021年9月30日までに新たに抗HIV薬を処方された患者。

「累計」のNDB集計：2013年4月～2021年12月の通院患者（抗HIV薬処方）

- 2013年4月1日から2021年12月31日までに1回以上抗HIV薬を処方された患者数

- 抗HIV薬は別表のマスタ（表9）を使用した。
- 報告地：医療機関所在地（NDB、感染症法）
- 〔居住地〕：最近数年間の主な居住地（感染症法のみデータあり）
- 報告地率・〔居住地率〕：全国を100%とするその地域の割合
- 「・」はNDBからは集計困難な項目。

要点：表 9

● 表 9 抗 HIV 薬一覧（マスタ）

この提出資料では、HIV 感染者・エイズ患者の定義として、「抗 HIV 薬の処方を受けている患者」を採用した。一般的には抗 HIV 薬は HIV 感染症以外には使用されないと考えられており、また、抗 HIV 薬を処方して診療報酬請求を行わない例があるとも考えにくいためである。ただし、HIV と診断されつつ抗 HIV 薬の処方を受けていない患者が、今回の NDB 集計から除外されている点は留意が必要である。

なお、2020 年 1 月以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して抗 HIV 薬であるロピナビル／リトナビル配合剤（カレトラ）、ネルフィナビルメシル酸塩（ビラセプト）が処方された影響で、この期間の HIV 感染者・エイズ患者数が一時的に変化していることが予想された。研究班では、本件についての検討を進め、今回の集計値はすべて、COVID-19 への抗 HIV 薬処方例を除外した集計としている。

(表9) 抗HIV薬一覧 (マスタ)

医薬品コード	HIV薬名称	略名	一般名	作用機序	1錠あたりの含量	配合剤
620005140	レトロビルカプセル100mg	AZT(ZDV)	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
610443081	ヴァイデックスECカプセル125 125mg	ddI	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	125	0
610443082	ヴァイデックスECカプセル200 200mg	ddI	ジダノシン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620000425	エビル錠150 150mg	3TC_150mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	0
620000426	エビル錠300 300mg	3TC_300mg	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
610412192	ゼリットカプセル15 15mg	d4T	サニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	15	0
610412193	ゼリットカプセル20 20mg	d4T	サニルブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	20	0
621144201	コンビル配合錠	COM	ジドブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621144201	コンビル配合錠	COM	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	150	1
620004998	ザイアジェン錠300mg	ABC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
620001903	ピリアード錠300mg	TDF	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	0
621657001	エブジコム配合錠	EZC	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
621657001	エブジコム配合錠	EZC	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620002488	エムトリバカプセル200mg	FTC	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
621662301	ツルバダ配合錠	TVD	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
610421341	ピラミューン錠200 200mg	NVP	ネビラピン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620006943	ストックリン錠600mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	600	0
621932401	ストックリン錠200mg	EFV	エファビレンツ	非核酸系逆転写酵素阻害剤	200	0
620009086	インテレンス錠100mg	ETR	エトラピリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	100	0
622149101	エジュラト錠25mg	RPV	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	0
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	リルビリン	非核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622388001	コムブレラ配合錠	CMP	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620004975	クリキサンカプセル200mg	IDV	硫酸インジナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620003516	インビラーゼカプセル200mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620004347	インビラーゼ錠500mg	SQV	メシル酸サキナビル	プロテアーゼ阻害薬	500	0
621143701	ピラセプト錠250mg	NFV	メシル酸ネルフィナビル	プロテアーゼ阻害薬	250	0
621143601	ノービア内用液8% 80mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	80	0
622054801	ノービア錠100mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	ロビナビル	プロテアーゼ阻害薬	80mg/mL	1
621384201	カレトラ配合内用液	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	20mg/mL	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	ロビナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	1
621765701	カレトラ配合錠	LPV/r	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	5	1
620000454	レイアタツツカプセル150mg		硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	150	0
620000454	レイアタツツカプセル200mg	ATV	硫酸アタザナビル	プロテアーゼ阻害薬	200	0
620002465	レクシヴァ錠700 700mg	FPV	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	プロテアーゼ阻害薬	700	0
620005884	ブリジスタ錠300mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	300	0
622276701	ブリジスタナイーブ錠800mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	0
622403501	ブリジスタ錠600mg	DRV	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	600	0
620007815	アイセントレス錠400mg	RAL	ラルテグラビルカリウム	インテグラーゼ阻害薬	400	0
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	コビスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622235801	スタリビルド配合錠	STB	フマル酸テノホビルジソプロキシル	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
622336201	デビケイ錠50mg	DTG	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	0
622408801	トリメク配合錠	TRI	ドルテグラビルナトリウム	インテグラーゼ阻害薬	50	0
622408801	トリメク配合錠	TRI	アバカビル	核酸系逆転写酵素阻害剤	600	1
622408801	トリメク配合錠	TRI	ラミブジン	核酸系逆転写酵素阻害剤	300	1
620009087	シーエルセントリ錠150mg	MVC	マラピロク	CCR5阻害薬	150	0
621930301	ブリジスタナイーブ錠400mg	DRVN	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	400	0
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
622522601	デシコビ配合錠LT	DVY-LT	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	テノホビルアラフェナミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	25	1
622522501	デシコビ配合錠HT	DVY-HT	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	ダルナビル	プロテアーゼ阻害薬	800	1
622532301	プレジコビックス配合錠	PCX	コビスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	コビスタット	CYP3A阻害薬	150	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	エムトリシタビン	核酸系逆転写酵素阻害剤	200	1
622507701	ゲンボイヤ配合錠	GEN	フマル酸テノホビルアラフェラミド	核酸系逆転写酵素阻害剤	10	1
610409330	ハイビッド錠0.375	ddC	ザルシタビン	2008年3月販売中止	0.375	0
610432038	ノービア・ソフトカプセル100mg	RTV	リトナビル	プロテアーゼ阻害薬	100	0
622626001	アイセントレス錠600mg	RAL	ラルテグラビル	インテグラーゼ阻害薬	600	0
622647301	オデフシイ配合錠	RPV/TAF/FTC	リルビリン/テノホビルアラフェナミド/フマル酸塩/エムトリシタビン配	NNRTI/NRTI配合剤	25mg/25mg/200mg	1
622660701	ジャルカ配合錠	DTG/RPV	ドルテグラビル/リルビリン配合剤	INSTI/NNRTI	50mg/25mg	1
622702901	ドウバイト配合錠		ドルテグラビルナトリウム/ラミブジン	インテグラーゼ阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害剤	50mg/300mg	1
622660501	ビクタルビ配合錠	BIC/TAF/FTC	ビクテグラビル/テノホビルアラフェナミド/フマル酸塩/エムトリシタビン	INSTI/NRTI配合剤	50mg/25mg/200mg	1
622702801	ピフェルト口錠100mg		ドラピリン	NNRTI	100mg	0
622699101	ラバミコム配合錠「アメル」		ラミブジン/アバカビル硫酸塩	核酸系逆転写酵素阻害剤/核酸系逆転写酵素阻害剤	300mg/600mg	1
622683501	シムツーザ配合錠		ダルナビル エタノール付加物/コビスタット/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド/フマル酸塩配合錠	プロテアーゼ阻害薬/CYP3A阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害剤/核酸系逆転写酵素阻害剤	800mg/150mg/200mg/10mg	1

●上記の薬剤を1回以上処方された患者をHIV感染者・エイズ患者として集計した。